

## 国語科学習指導案（2年）

- 1 単元名 だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう  
教材名「おにごっこ」（光村図書 2年）

### 2 教材観

#### （1）学習指導要領上の位置づけ

- ・知識及び技能（2）ア（3）エ
- ・思考力、判断力、表現力等「C読むこと」ウ・カ
- ・学びに向かう力、人間性等

#### （2）教材文の価値

- ・本教材「おにごっこ」は、2年生に入って四単元目の説明文の教材である。  
鬼ごっこは、多くの児童が共通の体験をしていて、興味・関心をもちやすい題材である。文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつことの指導に適している。「初め」に記されている二つの問いや、「中」に記されている問いについての答えを見つけながら、「遊び方」と「そのように遊ぶわけ」「その遊び方のおもしろさ」について、具体的に自分の言葉で説明できるように支援していきたい。

#### （3）今後の学習活動への活用

- ・3年「すがたをかえる大豆」で、話題と事例の書かれ方を捉えて読むこと。「科学読み物での調べ方」で、目次や索引を使った必要な情報の調べ方を知る学習。

#### （4）資質・能力の育成に適した言語活動の設定と言語活動の特徴

- ・言語活動例：（ウ）「学校図書館などを利用して、遊びに関する本を読んで調べ、分かったことを説明する活動」  
単元の追究する場面で、分かったことをメモする活動や、おにごっこや他の遊びについて本を読んで調べ友達に説明する活動を設定した。「おにごっこ」を学習する中で、文章の中から大事なことを読み取り、そのことをメモできるようにしていきたい。その力を生かして、図書室の遊びに関する本の中から、読み取った遊び方を友達に説明する活動を行いたい。

### 3 児童の実態及び指導方針

#### （1）既習の学習内容や活動

- ・「たんぼぼのちえ」や「どうぶつ園のじゅうい」では、コツカード（南小の研修で作成した説明文を読むための資料）を使いながら問いの文や答えの文を読み取ってきた。また、「かんさつ名人になろう」や「メモをとるとき」でメモのとり方について学習してきたが、多くの情報から必要なことを選んでメモすることができる児童は少ない。

#### （2）本単元に関わる児童の実態

（略）

#### （3）指導方針

- ・導入で、知っているおにごっこや遊びについて話し合うことで、興味を持って学習に取り組ま

せる。

- ・「コツカード」を手掛かりにして、だいたいな言葉や筆者の願いを読み取れるようにしていく。
- ・ワークシートを1枚にまとめることで、学習の振り返りや、情報の比較をしやすいとする。
- ・拡大した挿絵やペープサートを効果的に活用し、児童が視覚的に捉えることで、記述されている内容を理解できるようにする。
- ・おにごっこについて書いてある本を学校図書館から教師が借用し用意しておくことで、おにごっこについて調べやすくする。

#### 4 校内研修との関わり

自分で選んだおにごっこについての本を読み、楽しさやルールの工夫について説明し合うことは、「主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成」につながると考える。

#### 5 単元の目標

- (1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解できるようにする。

[知識及び技能] (2) ア

- (2) 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができるようにする。

[知識及び技能] (3) エ

- (3) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができるようにする。

[思考力・判断力・表現力等] C (1) ウ

- (4) 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにする。

[思考力・判断力・表現力等] C (1) カ

- (5) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

#### 6 評価規準

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2) ア	①「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。C (1) ウ	①文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かった遊びについて説明しようとしている。
②読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3) エ	②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。C (1) カ	

#### 7 指導計画 (全12時間予定 本時は6/12) ○:記録に残す評価 ・:指導に生かす評価

課程	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価の観点
つかむ	1	○知っているおにごっこや遊びについて話し合う。	・リード文を読み、おにごっこやいろいろな遊びについて興味をもてるようにする。	・【主体態①】

		<p>【単元の課題】 文章から大事な言葉を見つけて、分かった遊び方を友達に説明しよう。</p>		
		○学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元の言語活動の進め方が分かるように模造紙に書いて、単元の流れを確認する。</li> <li>・P91 下段を参考に説明のしかたについてふれる。</li> </ul>	
追究する	2 3 4	○遊びの説明のしかたを確かめながら、「おにごっこ」を読む。  ・遊び方とその面白さをワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び方とその遊び方をする理由、おもしろさを、接続詞や指示語、文章構成に着目しながら読んでいくようにする。</li> <li>・考えの参考になるように、例文を提示する。</li> </ul>	・【思・判・表②】
	5 6	○遊びの共通点や相違点を見つけて、遊び方についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び方とその遊び方をする理由についての共通点や相違点などを見つけ、比較する。</li> <li>・「なぜ、このルールを付け加えたのか」に着目するようにする。</li> </ul>	○【知・技①】
	6 7 10	○ P93「本でのしらべ方」を読んで、分かったことをメモすることを確かめ、遊びについての本を読む。  ○図書室の本を活用して、おにごっこについて書かれた本から調べ、友達に説明するための材料を集める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書などと連携を図り、児童たちが目的をもって本を探したり読んだりできるようにする。</li> <li>・自分が興味をもったおにごっこを選び、これまでの学習（本での調べ方、説明のしかた）を生かして、説明ができるようにする。</li> <li>・自分たちの経験と照らし合わせ、工夫を考えられるようにする。</li> </ul>	○【思・判・表②】  ○【知・技②】
まとめる	11 12	○自分で選んだおにごっこについて説明し合い、実際に遊んでみるなどして説明の伝わり方を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明し合ったおにごっこを実際に行うことで、説明が正しく伝わったことを振り返らせ、説明の良かった点を自覚させる。</li> <li>・身につけた力をこれからの学習や他教科につなげていけるよう、声かけをする。</li> </ul>	○【主体態①】 ○【思・判・表①】

## 8 本時の計画（5／12）

- ①目標 おにごっこについて、遊び方や理由などを比較し、情報をまとめられるようにする。
- ②準備 ワークシート、ワークシートの拡大、挿絵、本文の拡大、コツカード
- ③人権教育の視点 他者の考えや情報を踏まえ、自分の考えを整理する。

## ④展開

学習活動	教師の支援及び留意点	時間	評価項目
1 本時の学習のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの活動を振り返り、おにごっこのお遊び方やくふうをワークシートにまとめてきたことを児童と確認する。</li> </ul>	5	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           本時のめあて：おにごっこのお遊び方のくふうと、そのおもしろさをくらべて、ひっしやのつたえたいことをまとめよう。         </div>			
2 遊び方の共通点や相違点を見つけ、情報を比較する。  ○ルールを付け加えたわけを考え、ワークシートに記入する。  ○ワークシートに記入したものを比較する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おにごっこ」を一斉読みさせる。</li> <li>・といの文とこたえの文を確認するために、教科書とワークシートを振り返る。</li> <li>・なぜ、このルールを付け加えたのか比較できるよう、ワークシートにまとめた情報を確認する。</li> <li>・<b>2</b> <b>3</b> 段落は全員で答えを考えて記入し、<b>4</b> <b>5</b> 段落は個々で考える。</li> <li>・書けない児童には、ワークシートの「お遊び方のおもしろさ」に注目するよう声をかける。</li> <li>・「何のためのくふうか」という観点で、情報を比較するよう声かけをする。</li> <li>・情報の並び方の工夫に気づけるように、ワークシートの記述を再度確認する。</li> </ul>	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのあそび方の「くふう」と「おもしろさ」を比較し、情報をまとめることができた。</li> </ul> <b>【知・技②】</b> (ワークシート・発表の様子)
3 比較した情報からおにごっこについてまとめる。 ○6段落を読み、ワークシートの「おわり」にまとめる。 ○筆者の願いを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の願いに気付けるように、文末表現に注目しながら6段落を読み、本文に線を引くようにする。</li> <li>・ワークシートの「おわり」をまとめる中で、「みんなが楽しめるように工夫されていること」が共通点であることに気づくことができるようにする。</li> <li>・それぞれの遊び方で、なぜ工夫をするのかを考えさせることで、筆者の願いに気付くことができるようにする。</li> </ul>	10	
4 本時のまとめ・振り返りをして、これからの学習について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の並び方の順番に意味があることを振り返る。</li> <li>・次時からは遊びについての本を読み、説明する学習に入ることを伝える。</li> </ul>	5	

9 板書計画

	挿絵	挿絵	挿絵	挿絵	
--	----	----	----	----	--

  

おわり	中				はじめ
6	5	4	3	2	1
このように、					問いの文 ・どんなあそび方があるのでしょうか。 ・なぜ、そのようなあそび方をするのでしょうか。

  

○何のためのくふう  
 ↓みんなが楽しむためのくふう。  
 へどのおにぎり(いなり)をま回りに  
 (ちがいに)  
 ↓あそび方とくふう。  
 ひっしやのねがい  
 ・だれもが「楽しかった。」と思える  
 おにぎりができること。

④ おにぎり  
 おにぎりのあそび方とくふうと、その  
 おもしろさをくらべて、ひっしやのつた  
 えたいことをまとめよう。